

県内女性初となる 優良建設工事技術者表彰*を受賞した

えの もと な つき

榎本 菜月さん

榎本建設株式会社

◆ 仕事内容 / 現場管理(土木)

(1級土木・2級建築施工管理技士)



栃木県が発注し、県内建設業者が施工した建設工事で、過去5年間に優秀な成績を残した技術者に贈られる「優良建設工事技術者表彰」(今年度受賞者 54名)を、女性として初めて受賞された榎本建設(株)(日光市)榎本菜月さんのお話を伺うことができました。



—今回表彰を受けられた工事で特にご苦労された点などがあればお聞かせください。

ICT活用工事ということで、私自身初めての経験をさせていただきました。いつもそうですが、初めてのことは不安でたくさんの勉強が必要です。周囲の方々にわからないことがクリアになるまで質問し続けました。周りの方のほうが苦労したと思います(笑)

—この仕事で感じる面白い部分、反対に苦労を感じているのはどのようなことですか？

建設現場での仕事は一人ではできません。多くの方と協力して一つの工事を完成させ、実現する喜びを味わえます。また、現場の進め方は十人十色ありますので、アイデアを出し合い全員で最適解を導き出すプロセスに面白さを感じます。苦労していることは、屋外仕事のため、夏は暑く、冬は寒いことくらいです。



現場での検測作業

—今の仕事を選んだきっかけや動機はどのようなことでしたか？

業種にはあまりこだわりませんでしたが、「社会のため、地域のため、人のため」という大きな役割を担える存在として「建設業はカッコいいのでは」と考えました。ちなみに、家業ですが家族からは大反対されました。

—当時は大反対されたとのこと。今現在ご家族の意見は変わられましたか？

家族というか父です。私がいくら頑張っても、「女性は…」という固定観念が、わずかながらもあるように思います。弊社には私のほかにも2年目の女性技術者が1人おります。私が結果を出し続けないとその子にも迷惑がかかるので、女性の先輩として結果にこだわり続けています。

—3年前、当協会の座談会に参加されたとき、ご自身のビジョンが明確になり、会社のニーズにも応えるため、と資格取得に励まれていることを述べられていましたが、現在も何か資格取得に挑戦されていますか(仕事関係以外でも結構です)？

現在は、毎日子どもの宿題や勉強をみているため、自分の勉強は一時中断しています。子どもたちが自分で勉強できるようになったら、資格の勉強を始めて、一緒に切磋琢磨したいです。

—仕事とプライベートを両立するコツを教えてください。

両立ができていない感覚はありません。昼間は現場管理をし、家では主婦として、本業が二つある感覚です。全力でやってもうまくいかないこともあります。周りの人たちのサポートや優しい声のおかげでいつもポジティブにいられています。



事務所での書類作成

